

平成 29 年 2 月 20 日
定例記者会見資料

「Pepper 社会貢献プログラムスクールチャレンジ」による 狛江市立学校への人型ロボットの導入について

このたび、狛江市教育委員会が、ソフトバンクグループ株式会社「Pepper 社会貢献プログラム スクールチャレンジ」に応募したところ、Pepper の貸し出し自治体に選出され、平成 29 年度から 3 年間の予定で無償貸与されることになりました。

これにより、Pepper が市内の小中学校 8 校に常時配置されます。また、他の 2 校についても触れる機会を設ける予定です。

なお、狛江第四中学校には 1 月より先行導入されています。

本プログラムは、2020 年のプログラミング教育の必修化に向けた教育活動を支援することで、児童・生徒の論理的思考力や問題解決力、創造力などの育成に貢献することが目的とされています。

学校において、高いコミュニケーション能力はもとより、ダンスなど多様なアプリケーションを搭載している Pepper を、コミュニケーションツールとして、またプログラミング等の新たな ICT 教育のツールとして活用していきます。

【問い合わせ先】

狛江市教育委員会教育部

理事兼指導室長 柏原 聖子

電話 03-3430-1111 内線 2335